

Think Globally Act Locally (Vol.36)

ボランティアのすすめ

「59」「20」「61」「75685」「30000」・・・今回は数字がたくさん出てきます。

一昨日11月3日は「文化の日」でしたね。みなさんはこの休日をどのように過ごしましたか？

ご存じのように、11月3日は、今から59年前に、戦争の放棄を謳った日本国憲法が公布された日です。幸い、その後日本はたしかに戦争はせずに、今日に至っています。そんな、「平和」を記念する日だった一昨日の新聞の、『国際面』を見てみました。

イラクのバクダッド南部のムサイブという町で自爆テロがあり、20名が死亡、61名が負傷した。

パキスタン大地震によるパキスタンとインド両国の死者は75685名と発表された。

こうした記事の中に、「特派員メモ」というコラムを見つけました。人口約1億8000万人のブラジルで年に30000人以上が銃による犯罪で死ぬ、という内容のものです。治安の悪さを嘆く記者に、地元の友人はこう言ったそうです。「でも日本では同じくらいの方が自殺しているらしいじゃないか。その方が信じられないよ」。

印象に残ったのは、サンパウロ発のこのコラム記事の、結びの部分です。原文のまま引用します。

「治安が悪くとも、この街では、見知らぬ人同士がエレベーターであいさつを交わし、込み合う地下鉄では荷物を支え合う。東京のほうがよほどぎすぎすしていると思う。年間3万人。銃で死ぬ国も、自殺で死ぬ国も、どちらも何かおかしい。」(朝日新聞より)

一見「平和」な社会の中で、私たちはたとえば一度にたくさんの人の命を救うことなどできませんが、この世界の一員として、意識していくべきこと、行動してみるべきことは、いくらでもありそうだと思いますか。

活動体験記

活動の目的： 将来について考える

於： 渋谷幼稚園(渋谷中学高等学校体育館) 高2女子

課題設定の理由・動機： 将来は幼稚園か小学校の先生になりたいと
思っていて、幼稚園の手伝いができると聞いたので。

活動内容： 幼稚園の運動会の放送・道具・会場・園児係などがありました。
私はその中の園児係をやることができました。園児係は、園児
の水のみやトイレに一緒に行ったり、はちまきをつけてあげた
りしました。

学んだこと/感想：

今回の活動で先生の大変さがわかりました。でも、ものすごくやりがい
のある仕事ではないかと思いました。園児はみんな人なつこく、たく
さん話しかけてきてみんなの話を聞くのが大変でした。しかし、一生懸
命走ったりする姿は私たちと変わりませんでした。初めてこのような体験
をして、とても大変だったけれど、楽しいことも多く先生という職業にま
た興味がわきました。またこのような機会があったら、小さい子どもとふ
れあったり、先生の仕事などもっと詳しく知りたいと思います。

いつもご紹介する次のプロジェクトも、今月、また予定されています。この活動は、1～2
か月に1回の割合で定期的に行われています。

“ボランティア初心者”にとっても、“経験者”にとっても、学校の帰りに気軽に
参加するには最適の活動です。

渋谷クリーンアップ・プロジェクト

～渋谷からボランティアの文化を広げよう～

日時:平成17年11月19日(土) 午後1時～3時

集合場所:美竹公園(渋谷児童会館の隣り。学校から徒歩3分)

持ち物:ユニフォームを持っている方は持参してください。

また、会員パスポートを持っている方は活動を記録します
ので持ってきて下さい。

清掃用具はこちらで準備します。

申込み:メールまたは電話で東京事務局 担当:下平まで

(E-mail:info@sfpjapan.org 電話:03-5784-6723)

(NPO法人SERVICE FOR PEACE事務局より)